

「絵本の話」

家庭科 西田あや

「小さい頃、どんな絵本を読んでいたか？」と聞かれたら、一つくらいは絵本のタイトルを思い出すことができるでしょうか。それぞれの家で、幼稚園で、あるいは近くの図書館で…たくさんの絵本に触れる機会はあったでしょうか。家庭科の授業で同じ質問をしたら、知らない絵本のタイトルを答えてくれる人もたくさんいます。

近年、紙の書籍や雑誌の販売額は右肩下がりの傾向にあります。そんな中でも絵本の売り上げはじわじわと伸び続けていると言われています。書店に行ってみると、絵本コーナーは充実していて活気を感じることができます。このように売れ続けている絵本の魅力は何でしょうか。

まずは、子どもの知育に役立つ身近なツールとしての魅力が絵本にはあります。家庭科の教科書にも「絵本の読み聞かせは、読み手と聞き手とが絵本の世界を共有する喜びがある。また、子どもにとって絵本との出会いは、言葉や心をはぐくむ大切なものである。（『保育基礎：実教出版』）」と書かれてあります。多くの人は、この効果を期待して絵本を買っているのだと思います。

数年前、絵本を2千冊以上持ち、全国各地で読み聞かせをしている女性がテレビ番組に出演されていました。その女性が絵本の読み聞かせをするようになった理由が面白かったので紹介します。もともと子どもが苦手だった彼女。自分の子どもが生まれた時にどのように接したらよいのか分からなかったそうです。そこで、子どもとのコミュニケーションの手段として選んだのが、絵本だったのです。読み聞かせをしている時間だけでなく、絵本の内容について子どもと話をする時間もコミュニケーションが取れる、そう思って自分の子どもに読み聞かせをしているうちに、絵本の魅力に取りつかれたそうです。

将来、みなさんに子どもができたのなら、心や言葉をはぐくむために、またコミュニケーションの手段として、たくさんの絵本と触れ合う機会をぜひ作ってみてください。と、言いながら私自身も絵本の魅力に気が付いたのは子どもが大きくなってからです。今更ながらもっと読み聞かせをしてあげたらよかったと後悔しています。

高校生の皆さんにも絵本はオススメです。絵本は小さい子どもだけが読むものではありません。大人になったからこそ気が付くことのできる物語の意味や奥深さがあると思います。疲れている時、リラックスしたい時…肩の力を抜いてお気に入りの飲み物でも飲みながら絵本を読んでみてください。

（本校にも、絵本はたくさんあります。ぜひ、見に来てください。）

☆一人6冊以上、本を借りました☆

皆さんが1学期に借りた本の冊数をそれぞれのカードの右の欄に記入しました。そして、8月までに、すでに本校の目標である『6冊』を達成した人のカードには、シールをつけています。ちなみに、シールのついた人は、下記の表のとおりで、全校で36名、全体の8.7%です。

	1 組	2 組	3 組	4 組	合 計
3 年	2人	0人	1人		3人
4 年	2人	5人	3人	5人	15人
5 年	3人	4人		6人	13人
6 年	1人	3人		1人	5人



まもなく、今年度第1回目の読書冊数調査を行います。2学期も色々な行事があり、忙しいとは思いますが、10月の終わりから読書週間も始まります。読書会(ビブリオバトル)も開かれます。ぜひ、本に親しんでください。

～新刊紹介～ (全部入りました。)

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| ○『絶対「謝らない人」自らの非をけって認めない人たちの心理』 | 榎木博明【著】 |
| ○『これを食べた25キロやせました やせる食習慣が身につくレシピ102』 | ねこくらえ【著】 |
| ○『ババヤガの夜』 | 王谷晶【著】 |
| ○『8番出口』 | 川村元気【著】 |
| ○『水族館飼育員のキッカケな日常』 | なんかの菌【著】 |
| ○『天国での暮らしはどうですか』 | 中山有香里【著】 |
| ○『蛍たちの祈り』 | 町田そのこ【著】 |
| ○『マスカレード・ライフ』 | 東野圭吾【著】 |
| ○『そして誰もゆとらなくなった』 | 朝井リョウ【著】 |
| ○『近畿地方のある場所について』 | 背筋【著】 |
| ○『新・教場』 | 長岡弘樹【著】 |
| ○『東大ナゾトレ Another Vision からの挑戦状 第4巻』 | 東京大学謎解き制作集団【著】 |

クイズ第4弾！(今回は『頭の体操 第7集 脳ミソのジャングルを冒険しよう』から出題)

ち	お	ら	か	き	て
□	ぼ	う	こ	れ	□
の	う	ぱ	つ	が	き
は	が	が	か	な	と
だ	ふ	か	わ	を	る
れ	で	を	あ	や	ま

ちょっと見ると、ひらがながデタラメに「並んでいるようだが、きっかけさえつかめばクイズの文章が現れてくる。そのクイズの答えが□の二文字になっている。さて、どう読んだらいいだろうか。

《前回のクイズの答え》

90-2=球児(きゅうじゅう—2文字(ゆう))

25-3=虹(にじゅうご—3文字(ゆうご))

19-2=重機(じゅうきゅう—2文字(ゆう))

11-1=駄医(じゅういち—1文字(ち))